

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 「気づく」「考える」「やってみる」を理念の3本柱に掲げ、基本方針を明文化しています。ホームページや「入園のしおり」への記載、事前見学や入園時には園長から保護者に向けて詳しく説明しています。職員には年度初めの会議や研修会等で周知しています。	

Ⅰ-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 法人全体で行政や社会の動向を常に把握・分析しています。園でも稼働率を分析するなど経営環境の変化を把握しています。	
Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉 経営状況や改善すべき課題については、非正規職員に対しても業務に必要な情報について周知する取り組みを期待します。	

Ⅰ-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
今年度から6か年の中長期事業計画と中長期収支計画を作成し、園の設備計画も盛り込まれています。行動計画では大きく4つの項目を掲げ、事業内容や取り組み方針等、具体的な内容となっています。	

I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園長は、日常業務の中で職員から聞いた意見を参考に、中長期事業計画に沿った単年度の事業計画を策定しています。週1回の職員会議の場で計画目的やビジョンを周知しています。</p>	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・㉡・c
<p>〈コメント〉</p> <p>事業計画の実施状況の把握や評価・見直しを職員会議で行っていますが、全職員への周知という点では、まだまだ工夫が必要と園では考えています。</p>	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園では、子どもの目の前に現れた壁を突破する「生き抜く力」を育む為の園内環境整備を事業計画に盛り込んでいます。環境づくりの大工や作業については、保護者も積極的に参加しています。</p>	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>担当職員と主任により、週1回、カリキュラム検討会を実施しています。その検討内容を月1回のクラスミーティングで全職員と情報共有しています。</p>	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>検討課題や会議録については、グループウェアにより職員と情報共有し、皆で改善に取り組んでいます。職員アンケートでも組織的に取り組んでいることが伺えます。</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉠・b・c
<コメント> 「職務体制」「会議役割分担」を明示するとともに、園長として自らの責任と役割を明らかにして、職員一人ひとりとの信頼関係の構築に努めています。		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 園長は、市内の施設長会議に参加したり、法人内の所長会議に月1回参加するなど、情報収集に努めています。法人作成のコンプライアンスマニュアルを活用した研修会を実施し、参加者は研修についてのレポートを提出しています。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
<コメント> 園長は、教育・保育の質の向上を目指し、園内の各種会議等に参加して様々な方向性からアドバイスを言い、その後の活動にも積極的に参加しています。		
Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
<コメント> 園長は、職員の働きやすい職場環境の整備のため、職員体制の充実や、休暇を取得した場合の職員同士の調整等に努めています。保育支援システムやグループウェアの導入等、業務効率化に取り組んでいます。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
<コメント> 職場体験やインターンシップを受け入れて、園の魅力を理解していただけるように取り組んでいます。実習生に対しても就職候補先に繋がるように丁寧で充実した指導に努めています。		
Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a・㉠・c
<コメント> 法人で統一した自己評価シートを活用していますが、園の業務内容に合わない項目もあるようです。園の業務にマッチした分かりやすい内容への検討を期待します。		

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>職員個々の仕事量に違いがあるものの、残業の発生を極力抑え、有給休暇も取得できる環境にあります。職員との定期面談や福利厚生も充実しており、働きやすい職場であることが、職員アンケートからも伺えます。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㉡・c
<p>〈コメント〉</p> <p>一人ひとりの目標を設定していますが明確な目標項目や目標水準などの仕組みはありません。目標設定を文書化して、年3回の面談時に指導やアドバイスする等の仕組みづくりを期待します。</p>		
Ⅱ-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>キャリアパスを明示した法人研修を実施し、県が実施するキャリアアップ研修への職員派遣を行っています。園独自に、「新人職員研修」「プリセプター制度」、月1回の園内研修を実施しています。</p>		
Ⅱ-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>公募研修を掲示板に掲載して、正規職員、パート職員に関係なく研修に参加できるように推奨しています。年度末には各職員の研修参加状況を法人に提出・管理しています。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>実習生受入マニュアルを整備して、実習生本人の希望に応じたプログラム対応をしています。各クラス担任が実習にあたり、感染症対策マニュアル等の各種マニュアルを活用した指導が行われています。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 WAM-NETやホームページにて法人および園の理念、基本方針、事業活動等について、具体的で分かりやすく掲載しています。日々の教育・保育活動の様子をブログにより継続発信しています。</p>		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 経営コンサルティング会社による経営指導を毎月受けています。法人内の各施設に対しても経理処理関係の指導や業務改善のアドバイスを直接行っています。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 子育て情報の提供、子育て相談、保育無料体験など、親子の交流の場を提供する「マイ保育ステーション事業」を行っています。園児が地域の老人会と一緒に、さつまいも掘りや菜園づくり等の交流に取り組んでいます。</p>		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 ボランティア受入マニュアルを整備しています。受け入れに際しては、マニュアルに沿って、事前に必要な説明をしたり守秘義務に関する同意書を徴求しています。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 関係機関の連絡先リストを事務所に整備して、いつでも職員が連絡できる環境にあります。主任と園長が「要保護児童対策地域協議会」に参加して、関係機関と連携を図っています。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	㉠・b・c
<コメント> 県の「地域の障がい児支援体制機能強化事業」を行ったり、児童発達支援センターを運営して治療保育や訓練、各種相談に対応する等、法人をあげて福祉ニーズの把握に繋がる事業を行っています。		
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉠・b・c
<コメント> 「TSUNAGUどんぐりプロジェクト」では、どんぐりを集めて苗木まで育て里山に植樹し、森林の活性化、安心・安全な地域づくりに取り組んでいます。災害時には、地域の福祉避難所として役立ちたいと考え、水、コメなどの備蓄や羽釜炊飯に定期的に取り組むようにしています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ ㉔ ・c
<p>〈コメント〉 「一人ひとりの心を大切に保育」を目標とし、風通しの良い関係づくりを、園長が職員会議で指導したり検討する機会を設けています。今後は、倫理綱領や規定等の明確な文書を作成して職員に周知する事を期待します。</p>		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・ ㉔ ・c
<p>〈コメント〉 子どもや保護者が他人から見られたり、知られたくないことについて、その意思を尊重した保育を実践しています。今後は、プライバシー保護に配慮した支援マニュアルを文書化し、職員に周知することを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉔ ・b・c
<p>〈コメント〉 ホームページやブログでの保育ドキュメンテーションの実施、半日体験のマイ保育ステーション体験など、当園の良さを広く知ってもらう機会としています。その他にも、見学時にはパンフレットや「入園のしおり」などで丁寧に説明しています。</p>		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉔ ・b・c
<p>〈コメント〉 教育・保育の開始の他、重要事項説明書に関して変更があった場合や保護者の就労状況による教育・保育時間の変更等は事前に保護者に説明して同意を得ています。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉔ ・b・c
<p>〈コメント〉 他園への移行等に際しては、子どもの保育の継続性を損なわないように保護者の了解を得て、生活履歴や園での様子などの引継ぎ書を作成しています。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉔ ・b・c
<p>〈コメント〉 子どもを真ん中にした教育・保育が実践されています。個別懇談や意見箱の設置、保育支援システムなどにより保護者が意見を言える環境にあり、出た意見については保育に反映しています。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		㉠・b・c
<p><コメント> 苦情解決の体制について玄関にポスター掲示し、重要事項説明書にも記載しています。「苦情記録簿」には具体的な対応内容を記録し改善に繋げています。保護者とは送迎時や日々のコミュニケーションの中で多くの意見や要望を聞いています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		㉠・b・c
<p><コメント> 「入園のしおり」に相談窓口を記載し、個別懇談や意見箱の設置、保育支援システムなど意見を述べやすい環境にあります。職員は普段から利用保護者とのコミュニケーションを図るなかで何でも言える関係づくりに努めています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		㉠・b・c
<p><コメント> 苦情対応マニュアルに準じて保護者からの意見や相談に対応しています。送迎時の意見や相談については直接事務所等で対応し、その他については職員から主任・園長に連絡を入れて即対応し、内容によっては日程を定め後日対応しています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		㉠・b・c
<p><コメント> 事故防止委員会を法人内に設置し、各施設での情報を共有しています。「ヒヤリハット」や「事故報告」については、担当職員、主任、園長により発生要因の分析と改善策の検討、職員周知による再発防止に努めています。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		㉠・b・c
<p><コメント> 法人作成の「感染予防マニュアル」を活用し感染症流行前に職員に内容を周知しています。また、職員は「感染予防チェックリスト」によりセルフチェックを行い、各保育室には「ノロウイルス対応緊急処理セット」を配備しています。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		㉠・b・c
<p><コメント> 各行政と連携した避難訓練を行っています。事業継続計画を策定し、「備蓄リスト」により3日分の非常食を管理しています。玄関には近隣エリアのハザードマップを配備して保護者にも被災予想を注意喚起しています。「園児引き渡し確認表」による引き渡し訓練を実施しています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・㊦・c
<p><コメント> 標準的な実施方法についての文書化が不十分です。教育・保育の一定水準や内容での支援を目指すためにも、教育・保育の各場面におけるマニュアル等を作成する取り組みを期待します。</p>	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㊦・c
<p><コメント> 週1回のカリキュラム検討の場で、支援の方法について検討する機会となっているとの事ですが、標準的な実施方法の見直しを定期的に行う仕組みづくりを期待します。</p>	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	㊦・b・c
<p><コメント> アセスメントに基づき一人ひとりの子どもの発達に応じた指導計画を作成しています。支援困難ケースについては職員全体で検討して適切な保育に努め、3歳未満児については、毎月個人カリキュラムを作成し、一人ひとりの発達状況に応じた指導計画を作成しています。</p>	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㊦・b・c
<p><コメント> 「乳幼児個別支援計画」については、毎月の計画内容について検討する会議でPDCAサイクルによる継続的な見直しが行われています。その子の特徴や計画の見直し内容については、グループウェアにより職員間で情報共有しています。</p>	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㊦・b・c
<p><コメント> 教育・保育の記録内容や書き方については、新人職員にはプリセプターが指導し、グループウェアへの教育・保育記録については職員が情報共有するとともに、主任や園長が内容を最終チェックして指導やアドバイスを行っています。</p>	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・㊦・c
<p><コメント> 個人情報保護規定を定め、教育・保育記録などはグループウェアに記録し、パスワードによる権限管理が行われていますが、文書についての管理方法の見直しが望まれます。</p>	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。		
Ⅳ-1-①	子育て経験者との連携がとれている。	㉠・b・c
<p><コメント> 子どもが地域の老人会と一緒に、さつまいも掘りや菜園づくりを行ったり、老人施設とオンラインで子どもの発表会を鑑賞する等に取り組んでいます。</p>		
Ⅳ-1-②	子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	㉠・b・c
<p><コメント> 地域の自治会と情報交換や連携を図り、定期的な会議に園長が参加しています。地域の警察と連携した勉強会では、不審者対応のシミュレーション訓練に保護者も参加しています。</p>		
Ⅳ-1-③	地域の環境保護に貢献している。	a・㉠・c
<p><コメント> 空箱や廃材を活用した工作を行ったり、環境保護に関する絵本の読み聞かせを行っていますが、更に環境保護を意識した活動を行っていきたいと園では考えています。</p>		